

XMLデータベースの真価を引き出すには その「逆鱗」に触れない適切な使いこなしが不可欠

サイバーテックの提供する「Cyber Luxeon」(サイバーラクセオン)は、国内初の商用XML専用データベース(XML-DB)として知られる「eXcelon (Sonic XIS)」の優れた技術を継承しながら、日本市場のニーズに応じた拡張・強化を施した製品だ。企業システムにおいて、XMLならではの柔軟性、拡張性、交換性といったポテンシャルを最大限に活かしたデータ統合基盤を実現する製品として数多くの実績を誇っている。



株式会社サイバーテック
取締役 クロス・ソリューション事業部長
加藤 哲義 氏

XMLの黎明期から常に第一線でXML-DBの普及に携わってきた。

高度な技術が実現する 高い性能とスケーラビリティ

「Cyber Luxeon」の最大の特長となるのが、XMLをその階層構造のまま、DOMオブジェクトとして内蔵のオブジェクト指向DB(OODB)に格納できることだ。XMLをオブジェクト・ツリーのまま格納できるので、RDBのようにテーブル構造とXML構造の複雑なマッピングを行う必要がない。OODBには、20年近い歴史とamazon.comをはじめとする世界中のユーザーにおいて実績のある「ObjectStore」を採用。検索性のみならずデータの追加、更新やトランザクション管理など、データベースとしての高い信頼が最大の特長だ。「最近のXML-DB製品は、検索性能のみをアピールしているケースが多いが、データベースとしての全体バランスこそが肝心」とサイバーテックの加藤氏は語る。

Cyber Luxeonでは、XMLデータをDOM化した状態でメモリ上にキャッシュする「XMLキャッシュ」というアプローチが採られており、データに対しメモリスピードでのアクセスが可能となる。さらにこのXMLキャッシュを複数のマシンに分散配置して、巨大なデータベース空間を構成することができる。そして、DBサーバの負荷が気になった段階でマシンを増設することでリニアなパフォーマンスの向上が実現できる。「Cyber Luxeonは製造業を中心とした大手企業に数多く導入されているが、それはデータベースとしての安定感とこのスケールアウトによるパフォーマンス強化によるところが大きい」と加藤氏は説明する。

そのほかにもCyber Luxeonでは、「ダイ

ナミックモデリング」と呼ばれる機能が提供されており、システムを止めることなくタグの新規追加や更新削除といったDB構造の変更が自由にできる。これは他のXML-DB製品の追従を許さない特長でもある。「そもそもXMLは、ビジネス環境の変化やサービスの多様化に対し、柔軟にきめ細かく対応できるデータ形式。XML-DBもビジネスやサービスが必要とした時、即座にDB構造をも変容させ得るものでなくてはならない。そうした意味でCyber Luxeonは真のXML-DBと言える」(加藤氏)。

経験に基づく確かなノウハウで ユーザーを強力にバックアップ

「ただし、そうしたXML-DBの包容力に甘えすぎるとシステムづくりで痛い目を見るケースもある。どんなXML-DBもXMLデータをそのままDB化する利便性と引き換えに水面下の余剰処理を余儀なくされている。どこで余剰処理が発生するかは製品によって様々だが、この余剰処理の“逆鱗”に触れないシステム作りが肝心」と加藤氏。XMLデータの持ち方や処理パターンによっては余剰処理を増幅させ、想定以上にレスポンスが悪化する。その結果、「XML-DBは遅い、使えない」と即断してしまうユーザーも少なくない。「そうした場合にも、製品の特性に合わせてデータ設計やキャッシュの設定、アルゴリズムを見直すことで、劇的にレスポンスが改善されることが多い」と加藤氏は言う。重要なのは、製品ベンダーがユーザーに対して、自社製品の“逆鱗”のありかを正しく伝え、最適に使いこなすためのノウハウをきちんと指導することができるか否かである。

これについてCyber Luxeonの提供元であ



画面: Cyber LuxeonにはGUIベースのやさしい、効率的な開発環境も装備されている。

るサイバーテックでは、XML-DBを効果的に利用するための様々なノウハウを積極的に開示し、ユーザーを強力にバックアップしていく構えだ。「サイバーテック自体、1999年から「eXcelon」のユーザーサポートをアウトソーサーとして担当し、またXML-DBを利用したシステム構築を展開してきた実績を持っている」(加藤氏)。そこで培われた豊富な経験と確かなノウハウは、ユーザーにとって非常に心強いものとなるはずである。

問い合わせ

CyberTech
株式会社サイバーテック

東京都千代田区神田錦町3-5-1
興和一橋ビル別館7F
〒101-0054

TEL:03-5577-8000

FAX:03-5577-8002

URL:<http://www.cybertech.co.jp/>

E-Mail:info@cybertech.co.jp